

発言No. 13

受付No. 21

令和 8 年 8 月 20 日
13 時 56 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 5 番

氏名 花田 香

答弁を求める者

☐ 市長

☐ 教育長

監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

この夏よりこどもの権利条例の制定に向けて、市も目に見えて動き始めたところだと思
う。これについて進捗状況、今後の見通しなどについて伺う。

1 こどもの権利条例制定について

(1) キックオフイベントについて

① キックオフイベントはどのような内容だったのか伺う。

② キックオフイベントで集まった「子どもの生の声」を市はどのように受け止め、

今後の条例素案に反映させるかを伺う。

③ このような子どもの声を聴く場面は今後どのように設定されるか伺う。

(2) 子どもがまちづくりに参画することについて

- ① 参画を広げていくための体制についての考えを伺う。
- ② 今後の他部局との連携、また意識の醸成についての考えを伺う。
- ③ 子どもファンドなど、実際に子ども自身が企画することを応援する考えはないか伺う。

2 各種ワクチン接種と健康被害について

これまで「次世代を担う子どもの権利、未来を守る」ために私は様々な質問をしてきたが、実際に浜田市は子どもの体の健康を守る責任を果たしているか、という点について伺う。

本年6月の定例会議においては、新型コロナウイルスワクチン接種に伴う健康被害の実態、及び新たなレプリコンワクチンを含むリスク情報について、市としての誠実かつ積極的な情報提供を強く求めている。

まずはその後の進捗状況、またそのほかのワクチン接種に対する対応から伺う。

(1) 本市における子どもや妊婦対象の定期接種の状況について

- ① 4月より接種実績はどのような状況か伺う。
- ② 4月以降の各種ワクチン接種の対象者と、接種率はどのような状況か伺う。
- ③ ワクチン接種後の死亡、重篤な後遺症などの状況を把握しているか伺う。

(2) 各種ワクチンによる本市に寄せられた副反応等に関する相談状況について

- ① 相談件数はどの程度あったのか伺う。

② 市は訴えのあった方に、どのような支援を行っているのか伺う。

(3) 予防接種健康被害救済制度について

① 各種ワクチンによる健康被害の申請件数及び認定件数はどのような状況か伺う。

② 市は訴えのあった方に、どのような支援を行っているのか伺う。

(4) 市民への情報提供の方法について

① 6月以降の、副反応や健康被害救済制度についての市民への情報提供状況を伺う。

② 各種ワクチンの副反応の項目が日々増えているが、把握しているか、また市民に周知しているか伺う。

③ また、相談窓口の周知の状況を伺う。

3 オーガニックビレッジ宣言以降の取組と成果、今後の課題について

未来を担う子どもたちの健康を守り抜くことは、「外から入ってくる危険なものから守る」という視点と、元々人が持っている自己免疫力を高めて病気から身を守れるようにする、「内側から守る」という視点が大切である。

幸いにも、そのような考え方を持つ関係者の尽力により、我が浜田市は島根県初の「オーガニックビレッジ宣言」の誇りを持っている。

この令和5年の宣言以降の、オーガニックビレッジ浜田における『食と農』による免疫力向上の推進についての取組状況を伺う。

(1) オーガニックビレッジ宣言で目指したい姿について

① オーガニックビレッジ宣言により、浜田市はどのような自治体の姿を目指すのか市長に伺う。

② 今現在の浜田市は、その理想とする姿の何パーセント進んだと思われるか伺う。

(2) 食と農が安全なものに切り替わることのメリットについて

① 食と農が安全なものに切り替わることのメリットはなにか伺う。

② それを受けて、切り替えていくためには何が必要か伺う。

(3) 浜田市有機農業実施計画の進捗状況について

① 全体の計画の進捗状況を伺う。

② 他の自治体の良い事例など、参考にしている施策はないか伺う。

③ 新たな課題と対策について伺う。

(4) オーガニックビレッジ宣言についての市民の意識の醸成について

① オーガニックビレッジ宣言後、市民の意識が向上したとを感じるか伺う。

② 意識の醸成を図るための考えがあるか伺う。